



平成23年5月1日発行

こんちわ奥さん



大丸エナウイン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022

大阪市住之江区緑木1-4-39

TEL.06 (6685) 5101

ダイヤル 0120-093-025

http://living-poppo-garden.jp/

「はじめに」
「こんにちわ奥さん」係から

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

読者からも、今回の震災を痛む声が寄せられています。地震国の日本では、震災は他人事ではありません。また、お便りの中に「LPガスを使っている家庭での災害発生時の注意事項、対応策を教えてください」というものがありました。今号で要望にお応えします。そのため「住まいの収納アイデア」は、お休みとさせていただきます。ご理解のほど、お願い申しあげます。

左の写真は、和歌山県田辺市にある南海道地震津波潮位標識です。1946年の昭和南海地震では、この標識のところで津波が押し寄せたのです。和歌山県は昔から、津波の被害で苦しめられてきました。POPO百科も今回は、和歌山県の津波に関する物語をとりあげました。



稲むらの火

津波と生き神様



「稲むらの火」という物語は、南海地震を常に意識しなければならぬ和歌山県では広く知られています。1854年の安政南海地震津波に際して、紀伊国広村（現在の和歌山県有田郡広川町）であった故事をもとにした物語です。ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の「ア・リビング・ゴッド（生き神様）」は、西洋と日本では「神」についての考え方が異なることに触れた英語の著作です。その中でハーンは、生き神様と慕われている紀州人の物語を紹介しました。

物語に感銘を受けた地元の小学校教員・中井常蔵は昭和9年国定国語教科書の教材公募が行われると、児童向けに翻訳・再構成し応募、入選、昭和12年から国定教科書に「稲むらの火」として掲載されました。教科書では具体的な年代や場所は省かれ、普遍的な物語として、次のように構成されました。

高台に住む庄屋・五兵衛は地震の後、海水が沖へ退いていくのを見て津波の襲来に気付きます。

す。村人たちに危険を知らせるため自分の田の稲むら（刈り取った稲の束）に火をつけました。火事かと高台に集まった村人たちの眼下には押し寄せる津波が。五兵衛の機転と犠牲的精神によって村人は救われたためです。

主人公・五兵衛のモデルは実在した濱口儀兵衛（梧陵）です。梧陵は商人であったし、実際に火をつけたのは、これも稲むらと呼ぶ脱穀後の藁であったと伝えられます。史実と異なる点が多いのはハーンの誤解によるものですが、再構成された物語も敢えて史実にこだわっていません。

梧陵が迅速な避難に貢献したのは事実であり、物語にはありませんが、被災後、私財を投じ防潮堤を建設しこの防潮堤が昭和21年の南海地震による津波の被害から住民を守ったのです。

奥さん、大丸エナウインの株主になりませんか！



当社ホームページ…<http://www.gas-daimaru.co.jp>

平成23年3月期の当社業績につきましては、5月12日（木）の午後に発表予定です。当日は、大阪証券取引所記者クラブにて決算発表を行ない、ホームページに「決算短信」を掲載しますのでご参照ください。

〈株価指標〉

直近株価 572円（平成23年4月11日東証終値）
予想利回り 1.92%（配当11円、株価572円と仮定）

〈基本データ〉

（売買単位）100株（上場市場）東証2部、大証2部
（証券コード）9818〈株式の銘柄ごとに割当された番号〉

↑ 証券会社へ売買注文する時や株価検索する時などに便利

（新聞株価欄の業種） 商業
（配当状況〈1株当たり〉）※ご参考、前期実施状況（予定含む）
平成23年3月期配当予定 13円（うち、実施済み中間配当5.5円）
※内訳は普通配当11円、創立60周年記念配当2円です。
（株主優待制度）
毎年3月31日現在の株主様へ下記の基準で贈呈
100株以上1,000株未満ご所有…図書カード1枚（500円相当）
1,000株以上ご所有……………3,500円程度の選択型ギフト券

大丸エナウインの株式に関するお問い合わせ先…総務部 株式課